

資料 7

令和 2 年度福島区地域ケア推進会議で 検討された地域課題について

介護保険制度では、地域包括支援センターが開催する「地域ケア会議」で個別支援の内容検討を積み重ね、その中から見えてきた地域課題を区（または市）の「地域ケア推進会議」において検討するしくみとなっている。

令和 2 年度の福島区地域ケア推進会議では、以下の 2 項目が検討課題とされている。

● 課題 1

大型マンションの増加等の様々な要因で、実態把握が困難な「見えない高齢者」が増えているため、早期支援につながらない。

（解決に向けた取り組み）

- ・商業施設や集合住宅等、多くの人が集う場所での出張相談会の開催等の周知活動。管理人や民生委員等と顔の見える関係づくりの強化。
- ・相談窓口の周知、認知症についての啓発推進。

● 課題 2

コロナ禍で地域行事が中止されたり外出に抵抗のある高齢者が多く、外出機会が減り地域とつながりを持たず閉じこもりがちになり、筋力や気力の低下している高齢者が増えている。

（解決に向けた取り組み）

- ・地域とつながりを持たず、閉じこもりがちの高齢者への支援を強化。
- ・コロナ禍で活動機会の減少している高齢者に対し、関係機関と連携した（外出以外の方法も含め）様々な視点でのアプローチ。